

難航!! 長島巨人の内閣改造

福田留任で対立 関根、須藤、宮田は退団必至

「ニュー巨人」誕生に待ったがかかった。ヘッド・コーチ格に巨人OBの荒川博氏（現ヤクルト監督）を指名するなど、巨人の新スタッフ作りは着々と進行しているが、ここに来て福田打撃コーチの処遇をめぐり、長島監督とフロントの意見対立が表面化。来季へ動きはじめた矢先、早くも暗礁に乗上げた。

就職口探しに大忙し・宮田 コーチ

関根ヘッド
コーチを初め
須藤守備走塁
宮田投手コー
チの辞意は固
く退団は必至
の情勢。

すでに宮田
田コーチは就
任前、解説者
として、働い
ていたラジオ
関東に身の振
り方を相談す
る等、各コー
チの動きは閉
幕を二週間後
に控えてにわかにあわただ
しくなってきた。三コーチ
についてはさして問題は残
っていないが、球団がひそ
かに来季のスタッフ作りを

始めた段階で持上がった意
見対立だけに、危ぐする関
係者が多い。

問題は長島監督が打撃担
当に、福田現コーチの留任
を推したことに始まる。先
に長谷川代表は、コーチ陣
の大刷新をほのめかした。
と同時に、長島監督と話し
合っており、ベストの道を求める
といいつながら、暗に球団が
イニシアチブを取ることも
におわしている。

なぜ球団が福田コーチに
反対するか。先の三コーチ
は、最下位の責任から辞表
提出の考えである。その点
からいけば、12球団最低の
チーム打率しか残せなかつ
た打撃コーチにもっとも大
きな責任があるはず。その
コーチを留任させることは

不公平になるといのが球
団側の見解である。また理
論が先行する指導法はチー
ム内部の評判にも、とかく
の問題があるといわれている。
このような背景から、
球団としては同コーチの残
留は全く構想外としている
これに対し、長島監督は
新鮮味を出す点では同意し
ながら、来シーズンの巻返
しをはかるためには、選手
個々の特徴を知りつくした
福田コーチの残留は絶対条
件と力説、現在まで妥協点
を見出すまでいっていない
このため、十月下旬から
予定されている秋季練習の
日程はもとより、新美（日
本ハム）木樽（ロッチ）な
ど、他球団から売込みのあ
るトレードに関しても、動
きようがないというのが実
情のようである。

いずれにしても、シーズ
ン終了後予定されている佐
伯球団常務と長島監督との
会談が終わるまで、ニュー
巨人の誕生は持越しとなり
そうである。（スポニチ）